

テーマ：「がんばれニッポン！ がんばれ尼崎双星高校 !!」

～ブラジルの2つのサッカーワールドカップ～

稲村 みなさん、こんにちは。

月に一度お送りしています、このコーナー。

今日は、「がんばれニッポン！ がんばれ尼崎双星高校 !! ブラジルの2つのサッカーワールドカップ」と題してお送りします。

そして今日は尼崎双星高校から、藤井先生、そして3年生の早坂さんと嶋崎さんを、ゲストにお迎えしています。こんにちは。

藤井・早坂・嶋崎 こんにちは。

稲村 今日はよろしくお願ひします。

さて、皆さん、ご存知のとおりブラジルでは、今年のサッカーワールドカップが開催されていますが、実は、同じブラジルで、もう一つのサッカーに関連するワールドカップが行われているのです。

これは「ロボカップ2014」という国際的なロボット競技大会で、「2050年までに、サッカーの世界チャンピオンに勝てるような、人型ロボットのサッカーチームを作る」ことを目指して、行われている大会なんです。

そして、サッカーワールドカップの開催年には、開催国と同じ国で、このロボカップ国際大会も開催することになっています。

そのロボカップの一部門として、次世代のロボット開発者を育成し、科学技術の教育手法を研究しようという目的で開催される「ロボカップジュニア」があります。英語でのロボットの説明が必要で、科学を通じたコミュニケーション力の向上を目指そう、という主旨で開催されています。

「ロボカップジュニア」出場の対象は19歳以下。日本では、ロボカップジュニアの日本大会での上位チームだけが国際大会に進めるのです。

そして、平成26年の3月に埼玉で行われたロボカップジュニア日本大会で、なんとなんと、我が尼崎市立尼崎双星高校のチーム「双炎」が準優勝を修め、見事、ブラジルで行われる世界大会に出場することが決まりました！

もう本当にすごいです。おめでとうございます！

そして今日は、そのチーム「双炎」のメンバーと先生に、ゲストで来ていただきましたので、お話を伺っていきたくと思います。

まず、尼崎双星高校についてご説明しますと、市立尼崎東高校と市立尼崎産業高校が発展的に統合されてできた、新しい市立高校です。普通科、商業学科、ものづくり機械科、電気情報科の4学科があり、今、それぞれの専門分野を活かして、また、その専門分野を超えたつながりの中で、子ども達が勉強しています。

それでは、まず、藤井先生から、自己紹介をお願いします。

藤井 尼崎双星高校 情報技術部の顧問の藤井です。今日はよろしくお願いいたします。

稲村 よろしくをお願いします。

先生は、ものづくり機械科の先生ですか？

藤井 はい。ものづくり機械の担当をしています。

稲村 そして、情報技術部の顧問でもいらっしゃる、ということですね。

藤井 はい。

稲村 それでは続いて、早坂さん。

早坂 尼崎双星高校 ものづくり機械科 3年生、早坂 翔太です。よろしくをお願いします。

稲村 よろしくをお願いします。

では嶋崎さん、お願いします。

嶋崎 尼崎双星高校 電気情報科 3年の、嶋崎 亮太です。

稲村 よろしくをお願いします。

早坂さんはものづくり機械科ですね。

早坂 はい。

稲村 嶋崎さんは電気情報科ということですから、この「情報技術部」で一緒になったということかな？ 二人は。

嶋崎 はい、そうです。

稲村 クラブを通じて、学科を超えて一緒に取り組んでいくっていうのは、いいことですね。

藤井 そうですね。はい。

稲村 この情報技術部というのは、どういったことをやっているクラブですか？

藤井 「コンピューターの可能性に挑戦」をテーマに、毎日活動しています。部員数は、1年生が4人、2年生が8人、3年生4人の、合計16名が、土・日関係なくがんばっております。

サッカーはもちろん、サッカー以外のロボットや、マイコンカーなど、また、ものづくり以外でも、様々な資格の検定に挑戦するなど、色々な活動をしています。

稲村 なるほど。この「ロボカップジュニア」のためだけに活動しているわけではないんですね。

藤井 はい。

稲村 様々な活動をするなかで、この「ロボカップジュニア」への挑戦も、その一つに入っている、ということですね。

藤井 はい、そうです。

稲村 なるほど、なるほど。

この情報技術部が出場する「大会」は、「ロボカップジュニア」がメインですか？ 資格取得は、皆さん順調に進んでいますか？

藤井 資格に関しては、通常3年生で取る資格も、クラブでは1年生が取るぐらいで、情報系では一番ハイクラスのレベルです。

もちろん、学校の授業だけではなかなか取得できませんので、大学なり、専門学校なりへ行って講義を受けて、受験しています。

稲村 なるほど。なるほど。

ということは、この情報技術部の活動内容は、通常の授業内容よりかなり高度な、踏み込んだ中身になっている、ということですね。

藤井 はい、そうです。そして、それがそのまま色々な大会で活かされています。例えば「マイコンカーラリー」にも毎年出ており、近畿大会だけでなく、全国大会の経験もあります。

稲村 ほう。やっぱり、実績の蓄積があるクラブだということですね。

今回、ブラジル世界大会へ出場するチーム「双炎」。「双子」の「双(そう)」に「炎(ほのお)」と書いて「双炎」ですが、これは、どんな由来で付いた名前ですか？

早坂 先輩が「双炎」でロボカップジュニア全国大会に出場し、リーグ戦で全勝。決勝リーグでは惜しくも負けてしまいましたが、先輩の使ったチーム名を、僕たちが引き継ぎました。

稲村 なるほど。じゃあ二代目「双炎」なんですね。

そして、先輩たち以上の成績を修めて…。これは先輩も喜んでらっしゃるでしょうね。

藤井 そうですね。

稲村 すごいですね。

さて、チーム「双炎」が見事、準優勝を勝ち取ったロボカップジュニアのサッカー部門ですが、ロボットを作るときに苦労したことはありますか？

嶋崎 はい、それはもちろん、たくさんあります。例えば、パーツが足りなくて、探し回って見つからない時とか、調整中にパーツが壊れて、もう苦労したとか、たくさんありますね。

稲村 なるほど。当日までにロボットを作り込んでいくということですが、当日はもう何もやっちゃいけないんですか？ それとも、当日もどんどん改良していくものですか？ ロボットは。

早坂 会場によって、センサーの値が違うことがあるので、調整が必要なこともあります。

稲村 じゃあやっぱり、臨機応変に調整もできないといけないし、事前に色々なことを想定して、作り込みが終わってないといけない、ということですね。

早坂 はい。

稲村 ちなみに、日本大会を勝ち抜いたロボットとは別のロボットで、世界大会を戦うのですか？

早坂 はい。

稲村 それは、規格が違うため作り直さなければいけない、ということですか？

早坂 いえ、今まで日本大会戦ってきたのは、僕たちが1年生の時から使っているロボットなので、やっぱりロボットですから…。

稲村 消耗してきたり、改良を加えないといけない点が出てきたり、次はもっとバージョンアップしたマシンで戦おう、という予定なんですね。

早坂 はい。

稲村 なるほど、なるほど。

では、ブラジルでの世界大会に向けて、お一人ずつお聞きしたいと思います。嶋崎さんは、どんな気持ちでいらっしゃいますか？

嶋崎 はい。僕たちのチームは、出場が決まってから、もう予定がてんこ盛りで、忙しい思いですね、今。でも、この忙しさが、世界大会出場の実感、ものすごくわきますね、これは。

稲村 なるほど。ねえ。まずやっぱりマシンの作り込み、そして旅行の準備など、色々ありますもんね。そして、今日はラジオにも、忙しいなか出演していただきました。

えー、じゃあ、早坂さんの意気込みはどうですか？

早坂 世界大会ということなので、色んな国の人たちが参加されるので、そういう人たちとのコミュニケーションなどを、楽しみにしています。

稲村 藤井先生も一緒に行かれるんですね？

藤井 はい。

稲村 このロボカップジュニアの、彼らが出るサッカー部門ですが、実際にはどんな対決になりそうなのか、もう少しご説明ください。

藤井 はい。サッカーコート内に入れるロボットは、ひとチーム2台と決まっております。だから2対2で戦うということです。

ロボットには色んな「目」、つまりセンサーが付いています。ラインを見分けるセンサー、それからボールを追いかけるセンサー、自分の位置を把握するセンサー、それから方位、いわゆるコンパスですね。そのようなセンサーを使って、プログラムを組みます。

2台ですので、「攻撃」と「守り」に分かれます。もちろん同じロボットもプログラムを変えて、スイッチを押して、後はもうロボットが判断してゴールします。

稲村 なるほど。では、試合が一度始まってしまったら、後は自分たちが作り込んだロボットにすべてを託す、ということですね。

藤井 はい。一番難しいのは、やはり、コートのボールを追いかけて、ラインから出てしまった場合は、もうロボットはいわゆる「取り上げ」、故障扱いになってしまう、ということです。

稲村 ちゃんと決められた範囲の中でしっかりと、止まるべきは止まって戦わなければいけない、ということですね。

藤井 一番大変なのは、2台ともコートから出てしまうと、相手の得点となってしまうことです。

稲村 あー、なるほど。いやー、難しそうですが、やっぱりこのお二人の活躍に、ぜひ期待したいと思います。また、今後、彼らのこの世界大会出場に刺激を受けて、後輩たちが後にも続いてくれると思いますので、とても楽しみです。

チーム「双炎」が、尼崎から世界へ活躍してくださることを、本当に期待しています。そして、帰国後の報告を聞くのも楽しみにしていますので、がんばってきてください！

今日は、尼崎双星高校からゲストをお迎えして、ブラジルで開催予定のロボカップジュニアのお話を伺いました。

では、意気込みを皆さんに示してもらうために、「エイエイオー！」で締めくくりましょうか。それではー！ がんばるぞー！

全員 エイエイオー！

稲村 今日はありがとうございました。

藤井 ありがとうございました。

稲村 では皆さん、次回の放送もお楽しみに。

以上